

Rotary Club of Sanuma

2023-2024年度 VOL 60

週報

佐沼ロータリークラブ

佐沼ロータリークラブ 2023-2024テーマ

「継続」と「変化」を実践し、世界を変える行動人となる。



会長 千葉正宏
 幹事 布施孝尚
 会報 猪股育夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼
 ☎22-8180 FAX22-0327

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

事務所 ホテルサンシャイン佐沼
 ☎22-8180 FAX22-0327



第2897回例会 2024. 2. 22 No.28

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・千葉正宏会長 大雪は大変です。運転注意です！
- ・杉田広仁会員 本日、卓話です。よろしくお祈りします。
- ・八谷郁夫会員 杉田広仁会員のスピーチ楽しみです。
- ・菅野幸一郎会員 杉田広仁会員のスピーチ期待しております。
- ・佐藤早智子会員 杉田広仁会員の楽しい卓話、ご期待申し上げます。
- ・二階堂恭子会員 今朝すごい雪にビックリ、今年一番の雪。今日の杉田広仁会員のお話、スゴク楽しみです。
- ・布施孝尚幹事以下 本日のスピーチに期待して。
 佐々木崇会員 千葉吉男会員 佐竹孝行会員
 遠藤光則会員 佐々木源悦会員 岩淵正彦会員
 熊谷敏明会員 高橋利光会員 小野寺伸浩会員
 富士原裕子会員 及川昭宏会員 岩淵栄市会員
 加藤亮会員 佐藤哲弥会員 村上正弘会員
 佐藤淳会員

以上、ありがとうございました。

会長要件 千葉正宏会長

一昨日までの暖かさはどこへ行ったのか、昨日から急に寒くなり雪化粧の風景を久々に眺めています。今朝は雪かきで汗を流した方も多いのではないのでしょうか？私も普段使っていない部分が少々筋肉痛です。暖かければ「今年はどうしたんだろう」と思い、氷点下になれば「この寒さは何なんだ」と思います。人間というのはほんとうにわがままな生き物だと痛感し

ております。

先週は、優良従業員と青少年善行者の表彰式があり、会長として、皆様の会社で評価され、仕事を通じて地域で頑張っている方々と一緒に写真撮影させていただいたことは、一生の宝物になるのだと思います。

仙台冠ロータリークラブより伊藤様、杉内様がお出でになり、会員増強方法などお話を聞き大変勉強させていただきました。

夕方より、米山奨学会・ロータリー財団・姉妹クラブの三委員会合同勉強会があり、17名の方に参加いただきました。各委員長の熱い思いを学ばさせていただきました。資料準備やご説明ありがとうございました。

今日は2月22日で、ニャンニャンという語呂合わせで「猫の日」という事です。

明日は「ロータリー創立記念日」となっております。1905年2月23日にイリノイ州シカゴで第1回の例会を開いたのが始まりです。

シカゴで弁護士として働いていたポール・ハリスが、世界初のロータリークラブ（シカゴ・ロータリークラブ）を設立したのは1905年2月23日となっております。様々な分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培うことのできる場をつくるのが、ハリスの夢でした。創設期は4人でしたが、徐々に会員が増えサンフランシスコに二つ目のロータリークラブが設立されました。

1912年にはカナダに設立されたことを機に「国際ロータリー連合会」になり、1922年に「国際ロータリー」の名称が採択されました。現在の世界でのクラブ数は36,118クラブ、会員数は121万人にまで増え、日本のクラブ数は2,216クラブ、会員数は84,000人となっております。

わずか4人から始めたクラブが、これだけ拡大するのは、当初の理念が素晴らしかったからだと思っています。

幹事報告 布施孝尚幹事

・川崎大師RCより 会報が届く

各委員会報告

・姉妹クラブ委員会（高橋利光委員長）

本日例会終了後、台北西門RC周年記念出席に関する最終打ち合わせを行いますので、該当者はお集まり下さい。

今週のスピーチ

「俳句について（第3回）」 杉田広仁会員
 今回は、俳句の作り方「一物仕立て」と「取り合わせ」についてお話したいと思います。

俳句の3つの基本については、1回目、2回目でお話いたしました。今回復習の意味で簡単にまとめてお話しします。

①なるべく「五・七・五」の十七音で作る。

字数でなく、十七音で作る。

音の数え方は、長音「ー」、促音、小さい「っ」、拗音「きゃ」は一音。

例：チューリップ……五音

②「一句一季語」を意識することが大切。

俳句の中には「無季」と言って季語の入っていないもの、「季重なり」と言って季語が2つ入っているものもある。初心者は一句に一語が良いのではないかと考えております。それは句がぶれないと言いますか、作者の考えを伝えるには季語が一つの方が伝えやすいということです。

③「切れ字」をうまく使う。

「や」「かな」「けり」など詠嘆、あるいは、その言葉を強調するのに使うもの。

「一物仕立て」と「取り合わせ」

・一物仕立て：季語のことだけで俳句を作ること。季語を中心で作ること（季語のことのみ）

・取り合わせ：季語以外の要素も入れて作ること。（季語+他の要素を入れて作る）作りやすいので初心者向け。

一物仕立ての俳句

・白藤や揺りやみしかばうすみどり 芝不器男
 白藤が風に揺れる様子を見ていた。ふと風がやむと、白に潜む、ほのかな薄緑に気がついた。

取り合わせの俳句

・しら藤や奈良は久しき宮造り 黒柳召波
 しら藤が美しく咲いている。奈良では、ひさしぶりにお宮の建設が始まった。

両句の共通点：「白藤」と「しら藤」、切れ字「や」（強調・詠嘆）が使われている。

両句の相違点：「白藤」の句は、「白藤」以外描かれていない。「白藤」のことのみ。

「しら藤」の句は、別に「奈良」「宮造り」が描かれている。

両句は、夏井いつきさんの解釈です。「白藤」の句については、読者、読み手がそれぞれ自分の思いをめぐらせてこの句を読み取ればよいのではないかと思います。

初心者は、どちらかと言うと「取り合わせ」の方が作りやすいと言われております。「一物仕立て」の方は、俳句は散文になって説明はくなくてはいけない、いろいろ読者が読んで感じる方にいろんなイメージをふくらませるのが良い句であると言われております。そのため十分に説明しつくしてはだめで、余裕をもって読者の方に俳句のイメージを浮かばせるというのが良い句とされています。それ故「一物仕立て」の句は説明はくなくてなかなか難しい句になってしまうと言われております。読み手の方に鑑賞する手だてをなくす。あるいは気力をなくしてしまうのは問題である。芝不さんの句の中に感じられるような「うすみどり」が読手にイメージとして出てくるような句、これが「一物仕立て」の良い句であると言われております。

芭蕉の句の中で「白菊の目にたてて見るちりもなし」という句があります。今咲いている白菊には目に止まる様なちりが一つもありません。一物仕立てとしての素晴らしい句ではなからうかと思っております。

芭蕉の取り合わせの句として「菊の香や奈良には古き仏たち」という句があります。これは、菊の香り、そして、古い都の奈良にはたくさんの仏さんがありますよ。

・「一物仕立て」の難しさ

「類想類句」一誰もが思いつくような凡人的発想のことを「類想」、その類想から生まれた誰もが作りそうな俳句のことを「類句」。「類想類句」を避けるには、観察力、根気、描写力の三つの力が必要である。一物仕立てが難しいと言われるところで。

一物仕立てがきれいに出来上がった時には、本来の写真が、描写が俳句の素晴らしさが出てくるのではなからうかと思っております。非常に難しいので初心者は取り合わせの方が良いと言われるます。

※参考文献

「夏井いつきの世界一わかりやすい俳句の授業」私は、プレバトを見て俳句をやってみようと思ひ、この本を買って使用しております。

・私の最近の投句

・第4・5回芭蕉白河の関俳句賞投句 入選句

「みそ萩や戌辰の志士の鎮魂碑」第4回

「野菊咲く修験の道か関の山」第5回

・ユーキャン受講生作品展 掲載句

「黒南風の即身仏や注連寺」（令和3年）

「みそ萩や戌辰の志士の慰霊の碑」（令和4年）

「どくだみや路傍に咲きし花一つ」（令和5年）